

令和 7 年度 桜花園 地域連携推進会議録

令和 7 年	司会者	記録者
11 月 14 日（金） 14：00～15：30	主任	課長
出席者	場所	
利用者 2 名、長岡市福祉課 主査、長岡市立高等総合支援学校 教員、行政書士、 家族会副会長、園長、課長、主任	地域交流ホーム研修室	
議題 及び 結果等		

<議題>

※別紙「次第」参照

■議題 1 桜花園園長挨拶

■議題 2 参加者自己紹介

■議題 3 地域連携推進会議の説明

※別紙「地域連携推進会議について」参照

■議題 4 桜花園の現状報告

<桜花園の現状報告>

- 開設:平成 7 年 8 月 1 日(今年で 30 年)
- 定員:施設入所 50 名、生活介護 50 名、短期入所 3 名、日中一時支援事業年 15 名
- 施設紹介:
 - 一人部屋または二人部屋
 - 高齢化に伴い、半数が医療用ベッドを使用
 - 排泄は居室にポータブルトイレ設置やおむつ対応の方が増加
 - デイルーム、食堂、浴室の紹介
- ICT 活用:インカム、タブレット、記録用ソフトの導入
- 利用者の障害種別:
 - 主に知的障害
 - 精神疾患、身体障害、発達障害、難病の方も増加
- 高齢化・重度化の進行:
 - 平均年齢 60.1 歳
 - 車椅子使用者 50 名中 18 名
 - 最高齢 92 歳、最年少 28 歳

- フレイル予防の取り組み
 - 作業療法士を中心に余暇活動の提供を増加
 - いいき活動(週 2 回):レクリエーション、風船バレー、ボーリング、玉入れ等
 - スヌーズレン、全身運動、棒体操など
- その他の活動
 - 園庭での散策、花の水やり
 - 長岡市のはなゆかりプロジェクトへの参加
 - 保護者会との協力(園庭の花植え、清掃)
 - 小学校との交流(花いっぱいコンクール)
 - 個別外出、グループ外出の実施
- 安全対策
 - 毎月の避難訓練実施
 - 職員研修(消火訓練、心肺蘇生法(AED 使用)、感染症対策など)
- 人材育成
 - 外部からの実習生受け入れ
 - 働きながら学ぶ制度の導入(外国人受け入れ)

■議題 5 施設見学

- ・ 体育館、食堂、作業室 3、女子棟、男子棟、地域支援室、支援員室 1 等を案内。

■議題 6 意見交換等

(質問)利用者の生活状況について

- ・ 利用者の金銭管理について
 - 週 2000 円のお小遣いを自己管理している利用者もいる(委員の利用者より)
 - お小遣い帳をつけて計算する利用者もいる
 - 家族や成年後見人等が金銭管理をしているケースもある
- ・ 日常生活の支援
 - 洗濯は職員が行っているケースがほとんどである
 - 日用品の購入は基本的に職員が対応(イオンネットスーパーや Amazon を活用)
 - テレビ視聴(ドラマ、演歌、野球など)が人気
 - 外出してお買い物を楽しむ利用者もいる(担当別外出を 2 回/年…計画)
 - 日中活動(生産活動)として、近隣施設のタオルを受託し畳作業なども行っている

(質問)当園の課題は何があるか

- ・ 施設設備の老朽化
 - 築 30 年で行動障害のある利用者への環境調整が難しい
 - 浴槽が一般浴槽しかない
- ・ 多様な障害への対応
 - 知的障害、精神障害、自閉症など様々な障害特性がある利用者が混在して生活していることが要因でトラブルが発生
 - 個室の不足や二人部屋での生活など、プライバシー確保の課題

(質問)人材育成としてどのような研修に力を入れているのか

- 法人内研修の実施
 - 法人内では1年目研修、2年目研修、管理監督者研修など、段階的な研修を実施
 - 強度行動障害支援者養成研修(基礎編・実践編)に積極的に参加
- 外部専門家による研修
 - 精神疾患に関する研修(田宮病院の看護師等による講義)
 - 虐待防止に関する研修(長岡市基幹相談支援センターからの講義)
- 資格取得の推進
 - 介護福祉士などの資格取得を奨励
 - 介護技術や知識の向上を図る

(質問)長岡市への要望はあるか

- 建物や設備の老朽化による改修や買い換え等への助成(現状、活用できる)
- 日中一時支援の積極的受け入れにおける職員配置への影響を解消できる市独自の加算等の創設
- 人材確保と育成のための手立てを支援出来る仕組み等

その他

- 参加者からの感想
 - 利用者の自己決定を尊重した支援の重要性
 - 入所施設の様子を理解するきっかけになった
 - 個々の楽しみを大切にする支援の工夫
 - ICT活用や新しい取り組みへの評価
- 次年度に向けて(当園より)
 - 次年度への会議の改善点を検討
 - 継続的な外部からの意見聴取の機会を設ける

以上